

NEWSLETTER

No121619

先週号ではバリューチェーン(VC)についてお話ししました。

VCはMTRX(マトリックス)の数値構造がなければ存在しえません。

また、VCの数字(="values";「価値」)をナンバーオペレーションにおいてうまく利用するには同数値構造についての深い理解が欠かせません。

「ナンバーオペレーションはMTRXの基。」

これまでMTRXについて多くのことを述べてきましたが、まだまだ語り尽くせません。見るたびに多くの発見があります。MTRXはなんとみて不思議な構造をもっています。

MTRXの数字(="numbers";「数値」)をVCの数字(="values";「価値」)と結びつけるとその不思議さがさらに際立って見えます。MTRXの数字の構造を「数値構造」("Structure of Numbers")と呼ぶなら、VCの数字の構造は「価値構造」("Structure of Values")と呼ぶことができます。

MTRXのテーブル(表)をご覧ください。

数学と算数だけでなく他の数字との関連性についての構造が見可。

同テーブルを図形化したイメージが「トライアングル」(「三角形」)です。

イメージは画像の意味ですが、数学的情報(数字の配列や数式など)をイメージで表現することで視覚的にとらえ分かり易くするのが目的です。

ナンバーオペレーションにおける「トライアングル」はMTRXの数値構造を分かり易くするのだけが目的ではありません。オペレーションやハンド操作に積極的に活用するのがトライアングルを描くプライマリーな(第一義的な)目的です。

そこでトライアングルをご覧ください。

と単に理解と容易にするだけでなく実践の為に積極的に利用します。

さらに、トライアングルを細かく観てみましょう。

トライアングルは、当初、マトリックスの数値構造の「からくり」について説明するために皆さんに紹介しました。

今後はそれをハンドテーブルと合わせてオペレーションの実践に利用してください。ナンバーオペレーションを幾何学的な側面が見るとさらに深い部分が見えてきます。

小△と各点(x,y) [y ↑] [x →] を見ると、ナンバーオペレーションの最大のファクター(要因)は(x,y)のx(=時間)にあります。